

# こんにちは 野々市市議会です



「儂」

作者：野々市市立布水中学校3年生 黒田 綾乃さん

9月定例会議案審議・議決結果一覧	.....2P
各委員会の主な質問と答弁	.....3P
9月定例会一般質問 10人が登壇	.....4P
行政視察報告	.....14P
議会アンケートの結果報告③	.....15P
12月定例会日程	.....16P

# 令和4年度一般会計補正予算 布水中学校の増築事業に係る実施設計などに 1億7,974万5千円を追加



令和4年第4回9月定例会は、9月6日から28日まで開かれました。  
令和4年度一般会計補正予算やロータリー除雪車1台の追加、  
野々市市教育委員会教育長の任命など議案17件が市長から、意見書提出に関する議案2件が議会から提出され、すべての議案を全員一致もしくは賛成多数で可決、認定、同意しました。  
令和4年度一般会計補正予算には、今後の生徒数の増加に伴って教室不足が想定される布水中学校の増築事業に係る実施設計の予算4,800万円や、国と県の事業復活支援金の支給を受けた市内の事業者に対し支給している「事業復活緊急支援金」の追加に係る予算2,000万円などが計上されています。

## 議決結果一覧

		○=賛成、×=反対、欠=欠席 ※議長（中村 義彦）は採決に加わりません。																
	議案名	議決日	議決結果	梅野智恵子	朝倉雅三	小堀孝史	向田誠市	北村大助	馬場弘勝	安原透	西本政之	中村義彦	杉林敏	辻信行	早川彰一	土田友雄	大東和美	岩見博
議案第43号	令和4年度野々市市一般会計補正予算（第4号）について	9月28日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第44号	令和4年度野々市市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	9月28日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第45号	令和3年度野々市市一般会計歳入歳出決算認定について	9月28日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×
議案第46号	令和3年度野々市市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月28日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×
議案第47号	令和3年度野々市市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	9月28日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×
議案第48号	令和3年度野々市市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月28日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×
議案第49号	令和3年度野々市市水道事業会計未処分利益剰余金の処分にについて	9月28日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第50号	令和3年度野々市市水道事業会計決算認定について	9月28日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第51号	令和3年度野々市市公共下水道事業会計決算認定について	9月28日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第52号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	9月28日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第53号	野々市市児童館条例の一部を改正する条例について	9月28日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×
議案第54号	野々市市建築関係手数料条例の一部を改正する条例について	9月28日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第55号	財産の取得について	9月28日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第56号	野々市市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	9月6日	同意	○	○	○	○	○	○	欠	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第57号	野々市市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	9月28日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第58号	野々市市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	9月28日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第59号	野々市市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	9月28日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議会議案第4号	少人数学級・教職員定数の改善を求める意見書	9月28日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議会議案第5号	地方財政の充実・強化を求める意見書	9月28日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○

## 各委員会の主な質問と答弁

9月15・16・20・21・27日の5日間

### 予算決算・総務産業・教育福祉常任委員会

**Q** 布水中学校増築事業において、増築を計画している教室数や供用開始の目標は。

**A** 普通教室6室と多目的ルーム1室を計画しており、併せて職員室も増築する予定である。鉄筋コンクリート造の4階建てで、令和6年4月の供用開始を目指している。

**Q** 今後の公債費の推移は。

**A** 過去の区画整理事業や街路事業などの起債償還が進んでいるため、公債費は減少傾向にある。

**Q** 住居確保給付金の支給期間は原則3箇月を限度としているが、3箇月終了後に状況が改善しなかった場合のケアやフォローは。

**A** 支給期間は原則3箇月であるが、場合によっては期間の延長も可能であり、その後も状況が改善されない場合は、生活保護申請も含めて相談に対応している。



野々市ブランド認定品

**Q** 野々市ブランド認定制度について、認定数と、認定後の影響は。

**A** これまで7製品が認定されている。市内外のイベント時に認定品を優先的にPRするなど周知に努めており、今後も野々市ブランド認定品を通して、市内外に野々市の魅力を発信していきたい。

**Q** 各小学校に1名、合計5名の外国語指導助手を派遣しているが、どのような活動の仕方になっているのか。

**A** 小学3年生から6年生まですべての英語の授業で外国語指導助手を配置することを重視している。児童の成長を継続的に観察し評価するために、1年間を通して同じ外国語指導助手が指導する体制をとるようにしている。

**Q** コミュニティバスのバス停命名権の募集方法は。

**A** 広報野々市や市公式ホームページでの周知に加えて、バス停周辺の事業者への案内を行っている。より多くの事業者に申し込んでもらえるよう、これまで以上に周知、案内に取り組みたい。



バス停への名称掲載イメージ（本名称掲載の場合）

## 人事

野々市市教育委員会教育長

大久保邦彦（栗田三丁目）

野々市市教育委員会委員

北村 曉成（二日市五丁目）

中江 洋美（稲荷一丁目）

野々市市公平委員会委員

亀田 勇人（住吉町）





馬場 弘勝 議員  
(野々市フォーラム)

## 災害対応力の強化に向けて、一時的避難生活が可能な公園を整備せよ

### 新規の公園事業や公園リニューアル事業で、「マンホールトイレ」等の設置を検討する

- Q** 本市の一時的避難場所79箇所のうち、44箇所が公園である。一時的避難生活を想定して、下水道公共柵やマンホールトイレ、かまどベンチ等の機能を持つ公園を積極的に整備すべきではないか。
- A** 市長 ● 今後、災害対応力の強化を図るため、新規の公園事業や公園リニューアル事業で整備を行う際に、マンホールトイレ等の設置について検討する。
- Q** 災害に伴い、がれきや粗大ごみ等の廃棄物が大量に発生する。迅速かつ適正に災害廃棄物処理を行うことが、復興の第一歩である。発生量に応じた仮置場の面積確保、収集運搬業者の人員と車両の確保について、事前の十分な対策が講じられていないのではないか。
- A** 地域政策部長 ● 廃棄物発生量や一時的に保管する仮置場の推計も含め、事前の体制を整えるための「災害廃棄物処理計画」を策定し、災害に備えている。仮置場は、市が保有する公園や駐車場を確保している。収集運搬については、関連する業者や協会と協定を締結

災害対応力の強化に向けて

- Q** スポーツ施設の広域的な相互利用促進策として、石川中央都市圏におけるスポーツの振興に向けて
- A** 教育部長 ● 圏域施設の相互利用の促進により、他の市町住民の利用が増加し、施設を有する市町の住民が施設を利用し難くなる
- Q** 事前の対策
- 「野々市市 災害廃棄物処理計画」
1. 組織体制と連携（自衛隊・警察・消防）
  2. 市民への広報
  3. 建物被害の推計（地震災害・風水害）
  4. 発生量の算定、仮置場の必要面積の算定
  5. 処理処分地の検討（処理能力・期間）

し、迅速に協力を要請できる体制によって、強化を図っている。

- Q** インターネットでのスポーツ施設予約システムの導入を本格的に検討すべきではないか。
- A** 教育部長 ● 未だ検討には至っていない。スポーツ推進連絡会において協議していただければ、調整を図っていく。
- Q** 未来のまちづくりにつなげていくために、若き市民である青少年の意見を積極的に取り入れ、独自の予算措置を伴う事業を実施すべきではないか。
- A** 市長 ● 将来を担う若者の視点を取り入れることは、大変意義があると認識している。中学生、高校生、大学生による「のいち若者みらいミーティング」や「野々市わかもの会議」の開催実績があるが、今後も様々な方策について考えていきたい。

一般質問を動画でご覧いただけます。  
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 <https://youtu.be/3cgEglnye8A>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



早川 彰一 議員  
(野々市フォーラム)

## 旧北国街道の結節点にある「本町2丁目南交差点」のラウンドアバウト化に向けて調査をしてはどうか

### 「本町2丁目交差点」は交通量が多いため導入は難しく、調査実施は考えていない

- Q** 現在、市では2箇所の土地区画整理事業が行われ、さらに計画もされている。
- 中央公園の整備拡張計画では防災拠点としての機能も重視されることから域内道路網にラウンドアバウトは大いに検討すべきと考える。
- また、北国街道整備の観点から旧跡富樫館に位置する、本町2丁目南交差点のラウンドアバウト化に取り組んでもらいたい。
- この交差点は現在、変形ながら五本の道路の結節点となっている。
- 一方は本町一丁目から、直角に本町三丁目に結ばれ北国街道の要衝としても大変意義深い場所と考える。
- しかしながら現状では即座にラウンドアバウトとすることは難しいと思うので、まずは調査をしてもらいたい。
- その結果によっては用地のこと、環境安全のことなど様々なことを地域の方々と十分に話し合いを重ねてもらいたい、市長の見解を伺う。
- A** 市長 ● ラウンドアバウト（環状交差点）の整備効果としては、安全性の向上や、信号機が不要となることに伴う維持管理コストの軽減などが挙げられる。
- 一方、「ラウンドアバウト」では、歩行者用の信号機も設置されないため、交通量によっては子どもや高齢者、障がい者などの交通弱者が、横断歩道を横断するタイミングを取りづらい、というデメリットもある。
- 「ラウンドアバウト」の設置条件としては、交差点を通過する車両の総数が、1日24時間あたり約1万台未満である、交通量の少ない場所が最適であるとされている。
- また、歩行者、自転車の交通量が多くなると、車道部の円滑な交通の確保が困難となる。
- 提案の「本町2丁目南交差点」については、令和2年の交通量調査結果によると、交通量が2万台を超えており、現地での導入については難しく、調査を実施することは考えていない。
- しかしながら「ラウンドアバウト」については、効果的な場所の選定を含め、今後、調査・研究して行きたいと考えている。

- 「ラウンドアバウトとは」
- 交差点の中央に円状の島が設けられ、その周囲を「環道」と呼ばれる一方通行の車線で囲い、そこに接続された複数の道から進入、退出が出来るようになっていくもの。
- ラウンドアバウトは1960年代からヨーロッパで普及していた。日本では「環状の交差点における右回り通行」として、2013年6月14日第43号改正道路交法によって現代的ラウンドアバウトが定義された。
- 2014年以降全国で導入が進み、2019年3月末には全国31都府県87カ所に拡大した。
- 2020年3月末では全国で101カ所、昨年3月末では126カ所と1年間で25カ所増加している。
- 「ラウンドアバウトのメリット」
- ① 車両交通の安全性向上が見込める。
  - ② 交差点への進入時において通過速度の低下。
  - ③ 車道は1回あたりの横断距離が短縮され、横断に当たり注意すべき方向が1方向となるため、歩行者に注意が集中できる。
  - ④ 信号待ちがなく渋滞の緩和につながる。
  - ⑤ 停車時間が少ない、または無いため燃料消費が少なくなり、CO<sub>2</sub>抑制が期待できる。
  - ⑥ 信号機が無いことにより道路の整備・維持管理コストの削減になる。
  - ⑦ 信号機が無いので電力の供給が不要、災害時の停電にも大きな効果が発揮できる。

一般質問を動画でご覧いただけます。  
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 <https://youtu.be/iuQ0uZvJ-G8>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。





朝倉 雅三 議員  
(野々市フォーラム)

## 北陸鉄道の支援について、都市計画税を充当せよ

### 支援の内容により判断をしたいと示唆

- Q** 本市における視覚障害者の生活動線における信号機に視覚障害者に対応した信号機の設置推進を提案いたします。市長の所見を伺います。
- A** 総務部長 ●本市では、押しボタン型の信号機は、設置されていないのが現状です。視覚障害者に対応した音響信号機（※1）を含めた信号機の設置に関しましては、町内会を始め、関係団体などの要望がありまして、交通量や事故の発生状況、付近住民への影響などを踏まえた上で、県警察、県公安委員会と協議してまいります。
- Q** 本市では他市町にないような特色あるアリーナにするべきと考えます。障害者スポーツの聖地と呼ばれる野々市にしてはどうでしょうか。そのためには、車いすバス大会を開催推進するなどです。
- A** 教育長 ●昨年、車いすバスケットボール等につきましても、既存施設の市民体育館とスポーツセンターで利用することができ、運用を行っております。今後も引き続き、市体育協会や各種スポーツ団体とも連携し、障害の有無や、性別、年齢に関係なく、スポーツを

- Q** 全国各地の地方鉄道では、国土交通省のこれまでの「総括原価方式」が運賃の基本であったが、新たな制度時間帯によって運賃を変動させる「ダイナミックプライシング」が検討されております。広島県内私鉄は、新たな運賃体系を先取りし平日の昼間や土日に割安料金で需要の底上げをし、早期に実施することです。本市を通る、北陸鉄道石川線鶴来・野町間では利用者が野町で乗り換えるという利便性の悪さにあります。金沢駅までBRT（※2）でつなぎ、新たな運賃制度を取りいれれば、利用者が増加すると考えます。もう一点は、運営コストとの関係です。鶴来・野町間は専用のバス路線とし野町・金沢駅間はBRTで既存バスと同様の運行をする。LRTと比較いたしますと、金沢駅まで鉄道を敷設する必要がある、大きな設備投資をすることになります。また、鉄道の点検交換にも大きなランニングコストが見込まれます。本市は、BRTを推進するのか併せて都市計画税を充当について、市長の所見を伺います。

※1 視覚障害者音響信号機とは、押しボタン信号機に2カ所ボタン（健常者用、視覚障害者用）がついています。片方はピコピヨ・反対側はカックウカックウなど渡りきる側で音声が変わる。また、高齢者にも対応し横断時間が増長されます。

※2 BRTとは、鉄道軌道を舗装しバス専用道路とし大型バスが走行する。これにより、一般道路での渋滞がなく定時運行が可能となります。また、現在の駅舎も活用できます。



一般質問を動画でご覧いただけます。  
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 <https://youtu.be/PqEQYI5JC3o>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



梅野智恵子 議員  
(みのりの会)

## 結ネットを今後どのように発展させ付加価値を高めるか展望を伺う

### 連合町内会と連携し、利用者がさらに広がるように支援していく

- Q** 結ネット導入によって、本市が現時点で認識している利点、効果、また課題は何か伺います。
- A** 地域政策部長 ●電子回覧板や、災害時の安否確認ツール機能のほか、回覧や郵便でしていたものを、アプリ上の操作で行え、町内会の事務の簡略化を実現することができた。また課題としては、各町内会によって利用率に開きがあると認識している。
- Q** 結ネット利用率の目標値を設定されてはいかがか。
- A** 地域政策部長 ●利用率の目標値を設定する考えはありませんが、より多くの人に登録していただけるようさらに支援に努めてまいります。
- Q** 具体提案としてマイナナンバー取得時など多様なニーズや用事で市役所に足を運ばれる市民に窓口等で結ネットにも登録いただくよう声をかけるなど積極的な働きかけを是非お願いしたい。

- Q** 市民協働のまちづくりにおける町内会を拠点とした「DX」の推進について
- A** 地域政策部長 ●マイナナンバー取得手続き用のテابلに結ネットのチラシを置き登録希望があれば、市民生活課から市民協働課に案内してもらうなど円滑な登録に繋がる仕組みについては非検討してまいります。
- Q** 各町内会から選出されているICT推進員は野々市市連合町内会タブレット端末等使用規程における管理責任者が指定された使用者という理解でよいのか。ICT推進員の役割について伺う。
- A** 地域政策部長 ●結ネットの普及拡大を図ること、ICT機器操作方法を定めることを目的に各町内会から選出していただいている。町内会によっては町内会長自身がICT推進員を兼任している場合もある。規程のほうに記入がされていないということであれば規程の見直しも検討し、今後の町内会合同研修会でICT推進員の意義をタブレット操作含め、各町内会長さんと協議させていただきたい。
- Q** 市民協働のまちづくりにおける町内会を拠点とした「通いの場（へん）」の推進について

- Q** 現在、地域サロンのない町内会にどのようなケア体制を提供していくか。全ての町内会に設置を目標に市が関わりを持って広めていくことが望ましいと考える。
- A** 市長 ●通いの場がない町内会には介護予防教室開催のほか、個人でも体操が自宅等で気軽に行えるよう市公式YouTubeチャンネルに体操動画をアップロードしている。通いの場での活動には、健康寿命を延ばす効果も期待されているので今後もより多くの地域で開設できるよう立ち上げ支援に努めてまいります。
- Q** 介護長寿課と市民協働課が連携し、創意工夫している各地域の市民協働のまちづくりをもっとアピールしてはいかがか。
- A** 市長 ●市は大学や企業と様々な包括連携協定を締結し、健康づくりでも様々な協力をいただいている。このような取組を広く市内全域にアピールしていくことは町内会など地域を活性化していく上で重要な視点と考えているので、様々な情報伝達のツールを使って積極的に発信に努めてまいります。



一般質問を動画でご覧いただけます。  
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 <https://youtu.be/YRnBjv6FtMo>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。





辻 信行 議員  
(野々市フォーラム)

## 新体育施設内で、シャワーや融雪・足湯等に活用できないかを問う

設置費用に5千万円近くのコストが掛かり、現状の温泉施設の状態や能力では、供給は難しい

### 温泉スタンドの活用について

**Q** 新たな体育施設の整備コンセプト「健康・交流・防災」に施設内でのシャワーや融雪・足湯等に活用できないかを問う。

**A** 市長 ●現在、民間事業者での活用につきましては、個別ヒアリングを行うなど調査、検討を進めているところでございます。新たな体育施設での利用については、温泉を送るための「送湯管施設」の設置費用に5千万円近くのコストが掛かるほか、現状の温泉施設の状態や能力を考えると、融雪装置や足湯などの施設利用に必要な水量の安定的な供給が難しいのではないかと考えております。

### SDGsに市民の関心を

**Q** 第二次総合計画、基本目標、施策1の共に考え共につくるまちづくりにおいて、リデュース、リユース、リサイクルの促進を進めるために、3R（スリーアール）について市民の工夫・体験のアイデアを公募してどうかを問う。

**A** 市長 ●3Rは、すべての世代の方々意識の醸成を図

**Q** 令和3年12月定例会でパートナーシップ制度の制定を訴え、市長から非常に前向きな答弁をいただいた。パートナーシップ宣誓制度という形で、今年の12月の人権週間制定される運びとなった。全ての人が差別される事無く、等しく住みよさを感じる街に成熟する過程の中で、このパートナーシップ宣誓制度の制定は大切な一つのピースである。しかし、誰も知らないのでは意味がない。周知が必要だと考えるがいかがが。

**A** 市長 ●この宣誓制度を広く市民の皆様にお知らせし、理解を深めていただくことが大変重要となってくるので、10月22日に文化会館フォールテにおいて「性の多様性を考えるシンポジウム」を開催する。

**Q** 学校にも多様性の問題は存在する。本市の小中学校において

### 小中学校の現状について

**Q** 学校にも多様性の問題は存在する。本市の小中学校において

ける多様性に配慮した施設整備の現状を伺う。

**A** 教育部長 ●市内の小中学校の施設の中で、多目的トイレ及びエレベーターの設置は、7校全てで完了しており、多様な個性を持つ児童生徒が等しく生活できる環境の整備に努めている。

**Q** LGBTQの方は約8%いると言われていて。これは、12〜13人に一人いることになるそう。先生方は「もしいたら」ではなく、「いてあたりまえ」という考えで子供たちと接するべきであり、そうならない先生方の意識改革が必要と考えるがいかがが。

**A** 教育部長 ●現在、市内小中学校において、性に関する悩みを、教師に相談する児童生徒がいることを確認している。教職員が、児童生徒の話に耳を傾け、児童生徒保護者の気持ちに寄り添い、学校全体での対応が必要と捉えている。今後、全ての教職員が性的志向や性自認に関する正しい理解を深めていくことが重要であり、意識改革を図っていききたい。

**Q** 先日、ある小学校で教頭が倒れて救急搬送された。過労が原因なのではと、ゾッとしました。私は、多忙化改善が停滞していると感じていたから、なおさらである。根本的に改善するには教職員の増員しかないと思うがいかがが。

**A** 教育部長 ●令和3年度の時間外勤務は前年度より微増している。教職員の増員が多忙化改善に直結することは間違いない。来年度は、小学4年までが35人学級となり、3年後には全ての学年で35人学級が実現する予定である。今後は、中学校も35人学級が実現するよう国や県に働きかけていきたい。

### ヤングケアラー支援について

**Q** 支援対策強化へ厚生労働省が、ケアラーの情報をも自治体の一部門に集約する新たな枠組み作りを取り組むと発表した。本市の方針を伺う。

**A** 市長 ●10月に公表される石川県ヤングケアラー実態調査の結果や、今後国から示されるケアラー情報集約のための手引書の内容を踏まえ、本市としての具体的な支援体制を構築したい。

今後、引き続き、この制度を含め、様々な支援を行うことで、市内で就業したい方の後押しとなるよう、努めてまいりたいと考えております。

### 京都府与謝野町との意見交換会について

**Q** 本市と同じく椿が町の花木や、古墳公園など本市と類似したところがあり、まちづくりのアイデアの意見交換会などを設けてどうかを問う。

**A** 市長 ●平成29年3月に、本市で開催しました「第27回全国椿サミット野々市大会」に先立ち、この前年の、サミット開催地であったことから、与謝野町とはご縁を感じております。

与謝野町の山添町長さんとは、この全国椿サミットのご縁もあり、これまでにも、何回か意見交換をさせていただいております。今でも、全国史跡整備市町村協議会などで、年に数回お会いすることがございますので、これまで同様、まちづくり等について、意見交換をしてまいりたいと思っております。



西本 政之 議員  
(令和清栄)

## パートナーシップ宣誓制度導入に向けて周知せよ

まずは「性の多様性を考えるシンポジウム」を開催する

### 小中学校の現状について

**Q** 学校にも多様性の問題は存在する。本市の小中学校において

**A** 市長 ●この宣誓制度を広く市民の皆様にお知らせし、理解を深めていただくことが大変重要となってくるので、10月22日に文化会館フォールテにおいて「性の多様性を考えるシンポジウム」を開催する。

**Q** 学校にも多様性の問題は存在する。本市の小中学校において

### 小中学校の現状について

**Q** 学校にも多様性の問題は存在する。本市の小中学校において

ける多様性に配慮した施設整備の現状を伺う。

**A** 教育部長 ●市内の小中学校の施設の中で、多目的トイレ及びエレベーターの設置は、7校全てで完了しており、多様な個性を持つ児童生徒が等しく生活できる環境の整備に努めている。

**Q** LGBTQの方は約8%いると言われていて。これは、12〜13人に一人いることになるそう。先生方は「もしいたら」ではなく、「いてあたりまえ」という考えで子供たちと接するべきであり、そうならない先生方の意識改革が必要と考えるがいかがが。

**A** 教育部長 ●現在、市内小中学校において、性に関する悩みを、教師に相談する児童生徒がいることを確認している。教職員が、児童生徒の話に耳を傾け、児童生徒保護者の気持ちに寄り添い、学校全体での対応が必要と捉えている。今後、全ての教職員が性的志向や性自認に関する正しい理解を深めていくことが重要であり、意識改革を図っていききたい。

**Q** 先日、ある小学校で教頭が倒れて救急搬送された。過労が原因なのではと、ゾッとしました。私は、多忙化改善が停滞していると感じていたから、なおさらである。根本的に改善するには教職員の増員しかないと思うがいかがが。

**A** 教育部長 ●令和3年度の時間外勤務は前年度より微増している。教職員の増員が多忙化改善に直結することは間違いない。来年度は、小学4年までが35人学級となり、3年後には全ての学年で35人学級が実現する予定である。今後は、中学校も35人学級が実現するよう国や県に働きかけていきたい。

### ヤングケアラー支援について

**Q** 支援対策強化へ厚生労働省が、ケアラーの情報をも自治体の一部門に集約する新たな枠組み作りを取り組むと発表した。本市の方針を伺う。

**A** 市長 ●10月に公表される石川県ヤングケアラー実態調査の結果や、今後国から示されるケアラー情報集約のための手引書の内容を踏まえ、本市としての具体的な支援体制を構築したい。

今後、引き続き、この制度を含め、様々な支援を行うことで、市内で就業したい方の後押しとなるよう、努めてまいりたいと考えております。

### 京都府与謝野町との意見交換会について

**Q** 本市と同じく椿が町の花木や、古墳公園など本市と類似したところがあり、まちづくりのアイデアの意見交換会などを設けてどうかを問う。

**A** 市長 ●平成29年3月に、本市で開催しました「第27回全国椿サミット野々市大会」に先立ち、この前年の、サミット開催地であったことから、与謝野町とはご縁を感じております。

与謝野町の山添町長さんとは、この全国椿サミットのご縁もあり、これまでにも、何回か意見交換をさせていただいております。今でも、全国史跡整備市町村協議会などで、年に数回お会いすることがございますので、これまで同様、まちづくり等について、意見交換をしてまいりたいと思っております。



一般質問を動画でご覧いただけます。  
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 <https://youtu.be/5FTmgrgruDQ>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



一般質問を動画でご覧いただけます。  
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 <https://youtu.be/NfAmLrTCMok>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。





大東 和美 議員  
(公明)

## 男性トイレにおけるサニタリーボックスの設置について

市役所庁舎と保健センターに設置し、そのほかの施設につきましては、順次拡大してまいりたい

**Q** 尿漏れパッド使用者に配慮した男性トイレの今後の対応をお願いします。

**A** 市長 ● 設置にあたりましては、わかりやすい案内表示を行うことで、誰もがトイレを快適に使用できるよう努めてまいります。

**Q** 働いていることを条件に子どもを預かっている本市における保護者の荷物の多さに対する現状・実態と「手ぶら登園」に向けての取り組みについてどのように感じてもらえるのか、お伺いします。

**A** 健康福祉部長 ● 保護者が持参する園児の荷物については、毎日の着替えやオムツのほか、毎週1回の布団の持ちかえりと持ち込み等お願いしております。

きょうだいで同時入園している場合は荷物も倍になるなど、保護者の中には、ご負担に感じている方もいらっしゃるかと思います。

これからの保育園と認定こども園に求めるもの

移動手段に、自転車や公共交通機関を利用する大都市圏とは異なり、本市の保育園と認定こども園を利用されている保護者の方の多くが、車で通勤していることから、登降園についても、ほとんどの方が車を利用してまいりますので、荷物の持ち運びの負担というよりも、園に持ち込むオムツ一枚一枚に名前を書かなければならないなど、オムツや布団、着替えなどの準備に負担を感じている方が多いのではないかと考えています。

オムツについては、近年様々な事業者が定額利用サービス、いわゆる「サブスク」を提供しています。

このサブスクを園に導入することにより、保護者と保育士両方の負担軽減になり、子育て支援と働き方改革になるというメリットがあります。

市内でも、このサービスの導入を検討している園があるとお聞きしていますが、オムツには様々な種類と価格があり、保育士の負担を考えますと、園児毎に保護者が選択するのではなく、園がそのうちの1種類を指定することになるのではないかと思

### その他の質問項目

- 一、母子手帳のデジタル化に向けて
- 一、母子手帳に6歳以降の書き込みスペースの提案について
- 一、フェーズフリーな広場について
- 一、8月4日の内水被害状況について
- 一、野々市中央公園拡張整備事業の事業者提案エリアについて



一般質問を動画でご覧いただけます。  
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 [https://youtu.be/lbxq\\_HRbsFE](https://youtu.be/lbxq_HRbsFE)

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



小堀 孝史 議員  
(野々市フォーラム)

## 中学校の休日の運動部の活動を、どのように地域へ移行するのか

これまでの検討組織委員会の委員を強化・拡大し、令和5年度後半に一部実施を目指す

**Q** 中学生における部活動は、近年、深刻な人口減少による部活動運営の行き詰まり、及び教師への負担増により働き方改革が必要になってきました。スポーツ庁は今年、運動部活動における休日の地域移行を検討し、「令和5年から3年間で休日の運動部活動を段階的に地域へ移行すること」を提言しました。そこで、本市はどのようにして検討を進めますか伺います。

**A** 市長 ● 本市ではこれまで「部活動における持続可能な体制作り検討委員会」を設置し、議論をしてきました。今回のスポーツ庁の提言を受け、子供たちと先生方の心身と社会的な健康と、その活動の中でたくましく育っていく子供たちが、本市のスポーツ活動の新たな担い手になっていくことが大切と考えています。

**Q** 今後、中学校の生徒数の状況を踏まえ、具体的検討を進めるスケジュールを伺います。

**A** 教育長 ● 本市の中学校における全生徒数の推計では、「横ばい」または「微増」と見込んでいます。また、今年度は国の提言が出されることを前提に検討組織委

員会のメンバーを拡大強化し、これまでの両学校校長と教育委員会職員に加えて、学識経験者等、部活動後援会、市及び民間スポーツ団体の各代表者を加え、第1回目の検討会を開催しました。令和5年度の後半には、一部の部活動で、土日の地域移行が開始できることを目指しています。

**Q** 今後、具体的にどのような方法で指導者を確保し、将来の地域のスポーツ環境を担う実施主体として、どのような団体、組織が考えられますか伺います。

**A** 教育長 ● 本市では、令和3年度に、2つの中学校教員を対象に実施したアンケート調査では、「外部指導者の確保」と回答した教員が55%であり、大きな課題としています。今後、受け皿となる活動団体は、体育協会、スポーツ少年団、市内の大学等を想定しています。

**Q** 今後、都道府県大会などに対する本市の考えと、保護者が支払う部費の徴収について地域の企業から応援してもらうことを考えてはどうかを伺います。

**A** 教育長 ● 大会の在り方は、令和5年度以降、地域のスポー

ツ団体等も参加できるように国を中心に準備が進んでいます。

また、活動に必要な諸費用は、国の提言でも、保護者の家計負担軽減を国や自治体からの補助を含めて検討することが必要としています。検討会を通じて研究を進めてまいります。

**ゼロカーボンシティ宣言後の取組**

**Q** 本市は令和4年3月にゼロカーボンシティを宣言し、具体的な取組を遂行するため、「地球温暖化対策推進本部」を立上げ「地球温暖化推進委員」を設置しました。本市はこれまで、多くの取組を実施してきましたが、今後、新たな事項や対策を強化する取組について伺います。

**A** 市長 ● 住みよい環境を次世代に引き継いでいくために、行政及び、市民や事業者の皆さんと一丸となって取組み、具体的には公用車への電気自動車の導入や、公共施設のLED化を順次進めてまいります。



一般質問を動画でご覧いただけます。  
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 <https://youtu.be/-FcBftwahr0>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。





北村 大助 議員  
(野々市フォーラム)

## 今般の豪雨経験から河川・水路に 「量水標」を新設・増設していただきたい

### 重点的な危険箇所において、「量水標」 設置を前向きに検討してまいりたい

野々市小の校舎面積に対して、児童数で割ると8・75㎡になる。御園小9㎡、菅原小12・64㎡、富陽小10・15㎡、館野小14・32㎡という事で、野々市小と御園小は10㎡を切っています。全国平均12・71㎡でいくと全国トップレベルで通っています。

また、教員1人あたりの児童数は「県平均が14名」ですが野々市は17・7人でトップです。一番少ない

Q 市内5つの小学校で現在3321名の児童が就学されています。5校で割りますと、「1校あたり664名」と平均値が出ます。県内は国公立も含めて202校ありますが、児童数で割ると「1校あたり276名」という計算になります。お隣の金沢市は23137名の児童がおりまして56校あります。1校あたりに換算しますと413名と平均値が出ます。県平均に合わせると、「野々市には12の小学校がある」とことになる。金沢市に基準を合わせると「野々市には8つの小学校がある」とことになり、これを野々市市は5校で賄っています。

Q 小中学校全ての校区見直しを議論する段階に来ている

A 健康福祉部長 ● 本町児童館のある菅原小学校区全児童の45%が放課後児童クラブを利用し

宝達志水町は6・6人になりますので、最大2・68倍の格差が出ています。教員の多忙化というのは当然、多い状態にあります。

Q 令和8年度にされたのか、9年度を目指すのか、もう少

A 市長 ● 令和8年度以降に実施する、出来るだけ早い時期に着手してまいりたい。

Q 緩やかな児童数増加の御園小大規模改修工事着工の目標年度はいつ頃を目指しているのか。

A 市長 ● 令和8年度以降に実施する、出来るだけ早い時期に着手してまいりたい。

Q 令和8年度にされたのか、9年度を目指すのか、もう少

A 市長 ● 令和8年度以降に実施する、出来るだけ早い時期に着手してまいりたい。

Q 令和8年度にされたのか、9年度を目指すのか、もう少

A 市長 ● 令和8年度以降に実施する、出来るだけ早い時期に着手してまいりたい。

Q 令和8年度にされたのか、9年度を目指すのか、もう少

A 市長 ● 令和8年度以降に実施する、出来るだけ早い時期に着手してまいりたい。

Q 令和8年度にされたのか、9年度を目指すのか、もう少

A 市長 ● 令和8年度以降に実施する、出来るだけ早い時期に着手してまいりたい。

Q 令和8年度にされたのか、9年度を目指すのか、もう少

A 市長 ● 令和8年度以降に実施する、出来るだけ早い時期に着手してまいりたい。

Q 令和8年度にされたのか、9年度を目指すのか、もう少

A 市長 ● 令和8年度以降に実施する、出来るだけ早い時期に着手してまいりたい。

Q 令和8年度にされたのか、9年度を目指すのか、もう少

A 市長 ● 令和8年度以降に実施する、出来るだけ早い時期に着手してまいりたい。

Q 令和8年度にされたのか、9年度を目指すのか、もう少

A 市長 ● 令和8年度以降に実施する、出来るだけ早い時期に着手してまいりたい。

Q 令和8年度にされたのか、9年度を目指すのか、もう少

A 市長 ● 令和8年度以降に実施する、出来るだけ早い時期に着手してまいりたい。

Q 令和8年度にされたのか、9年度を目指すのか、もう少

A 市長 ● 令和8年度以降に実施する、出来るだけ早い時期に着手してまいりたい。

#### 水防実施計画関連について

Q 堀内2丁目・5丁目、稲荷2丁目地内、各所で道路冠水や床下浸水等被害が生じた。現在工事中の用排水施設整備事業郷用水第4地区早期工事完成に市長自ら、県知事に直接要請を行っている。いただきたい。

A 市長 ● 今後改めて、知事と面談する場において直接要望してまいりたい。稲荷2丁目地内の水路については、他地区の冠水箇所も含めて、現在、現地確認や原因調査を行っている。今後、改善策について検証してまいりたい。

一般質問を動画でご覧いただけます。  
※二次元コードは機種によりご利用いただけません場合があります。  
PCからは、<https://youtu.be/7uC2lkjZBzk>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



岩見 博 議員  
(日本共産党)

## 本町児童館閉館 7千人の子ども遊びの場奪う

### 菅原小校区児童の放課後児童クラブ利用率が高いことが児童館利用者減少の原因

Q 老朽化と放課後児童クラブが整備されていることを理由に10月で閉館するとしているが、7千人の子どもの遊びの場を奪うことになる。いま必要なのは地域の子ども中心に考え直して新しく建て替えること。「中央児童館や押野児童館の利用を」というが、遠くならば交通事故や不審者犯罪に合う危険も多くなることを考えたのか。

Q 健康福祉部長 ● 本町児童館のある菅原小学校区全児童の45%が放課後児童クラブを利用し

Q 交通事故や不審者犯罪から子どもを守ることは考えず



本町児童館＝本町3丁目



中央保育園＝本町3丁目

Q 中央保育園の場所に保育園と本町児童館の複合施設を建設してどうか。地域の子どもたちの元気な声が聞こえる地域にするが子育て世帯の魅力となつて波及効果をもたらし、にぎわい創出に繋がるのではないのか。

Q 中央保育園の場所に保育園と本町児童館の複合施設を建設してどうか。地域の子どもたちの元気な声が聞こえる地域にするが子育て世帯の魅力となつて波及効果をもたらし、にぎわい創出に繋がるのではないのか。

Q 中央保育園の場所に保育園と本町児童館の複合施設を建設してどうか。地域の子どもたちの元気な声が聞こえる地域にするが子育て世帯の魅力となつて波及効果をもたらし、にぎわい創出に繋がるのではないのか。

Q 大倉外科医院跡地購入で「北国街道にぎわい創出プロジェクト」の重要な場所として、公衆トイレとか来場者の利便性を向上させることが考えられる」としてきたが、駐車場用地として購入した旧ウイング小西跡地を、郵便局の移転用地として貸すことになったことはこれまでの説明が破綻していることを自ら証明したことになる。あらためて医院跡地の購入中止を求める。交渉のリミットをいつと考えているのか。

Q 大倉外科医院跡地購入で「北国街道にぎわい創出プロジェクト」の重要な場所として、公衆トイレとか来場者の利便性を向上させることが考えられる」としてきたが、駐車場用地として購入した旧ウイング小西跡地を、郵便局の移転用地として貸すことになったことはこれまでの説明が破綻していることを自ら証明したことになる。あらためて医院跡地の購入中止を求める。交渉のリミットをいつと考えているのか。

Q 大倉外科医院跡地購入で「北国街道にぎわい創出プロジェクト」の重要な場所として、公衆トイレとか来場者の利便性を向上させることが考えられる」としてきたが、駐車場用地として購入した旧ウイング小西跡地を、郵便局の移転用地として貸すことになったことはこれまでの説明が破綻していることを自ら証明したことになる。あらためて医院跡地の購入中止を求める。交渉のリミットをいつと考えているのか。

Q 大倉外科医院跡地購入で「北国街道にぎわい創出プロジェクト」の重要な場所として、公衆トイレとか来場者の利便性を向上させることが考えられる」としてきたが、駐車場用地として購入した旧ウイング小西跡地を、郵便局の移転用地として貸すことになったことはこれまでの説明が破綻していることを自ら証明したことになる。あらためて医院跡地の購入中止を求める。交渉のリミットをいつと考えているのか。

Q 大倉外科医院跡地購入で「北国街道にぎわい創出プロジェクト」の重要な場所として、公衆トイレとか来場者の利便性を向上させることが考えられる」としてきたが、駐車場用地として購入した旧ウイング小西跡地を、郵便局の移転用地として貸すことになったことはこれまでの説明が破綻していることを自ら証明したことになる。あらためて医院跡地の購入中止を求める。交渉のリミットをいつと考えているのか。

Q 大倉外科医院跡地購入で「北国街道にぎわい創出プロジェクト」の重要な場所として、公衆トイレとか来場者の利便性を向上させることが考えられる」としてきたが、駐車場用地として購入した旧ウイング小西跡地を、郵便局の移転用地として貸すことになったことはこれまでの説明が破綻していることを自ら証明したことになる。あらためて医院跡地の購入中止を求める。交渉のリミットをいつと考えているのか。

一般質問を動画でご覧いただけます。  
※二次元コードは機種によりご利用いただけません場合があります。  
PCからは、<https://youtu.be/jvxWC4zRK7c>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



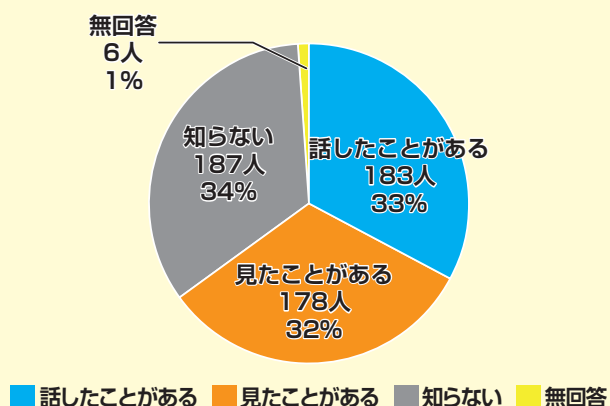


市民の声をお聴きしました。  
ご協力ありがとうございました。

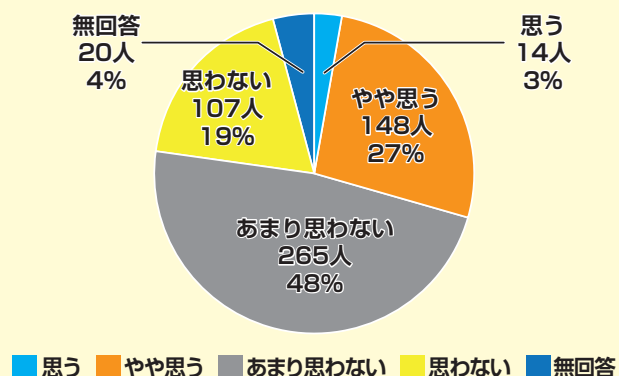
## 議会アンケート結果報告③

野々市市議会では、令和4年1月5日から1月20日までの間、無作為抽出した18歳以上の市民1,500人に対しアンケート調査を行ったところ、回答率は37%でした。  
アンケート調査の結果を3回に分けて議会だよりに掲載してきましたが、今回が最終回です。

設問 7. 市議会議員を知っていますか。



設問 8. あなたの意見や市民の声が市議会に届いていると思いますか。



### 設問10及び自由記載（抜粋）

- ・コロナ禍でご苦労が多いでしょうが、身体に気をつけてください
- ・一市民の目線で行動して欲しい
- ・アンケートをしようという意欲に感謝します
- ・オープンに話しが出来る場所があまりない
- ・議員、市長は一生懸命やっている。市民にも相応の自己責任がある。県内最低の投票率を恥じることを市民は自覚すべし
- ・市民のために粉砕碎身ガンバリ
- ・バランス感覚を保ち広く意見を聴き運営をお願いします
- ・議員の方ともしっかりとお話しする機会があったら良いなあと思いますが、市民の側からも積極的に参加するようにしないといけない
- ・政治については一部の者しか関係していないと思う方が多数いると思う
- ・自分達が参加できる一番身近な政治行動は選挙だということを教養として教えておく事が必要
- ・議会発言の議員毎の回数を知りたい
- ・考える機会を与えてもらいよかった
- ・市民の声が届いているのか全く分からないので、もっと工夫して時代に合わせてほしい
- ・市議会議員の存在感がない。市議が定期的に相談会を設けてもよいのでは
- ・市の発展のために頑張ってください
- ・今後も居心地が良くなるための政策などの提言を期待しています

### アンケート結果の分析

設問7の「市議会議員を知っていますか」では、会ったことがある、見たことがある、知らないと答えた方がそれぞれ三分の一ずつでした。話したことがあると答えた方の年代層は40代以上がほぼ大半を占めており、30代以下との対話の機会を作ることが課題となります。そして、知らないと答えた方をゼロに近づける努力が必要です。設問8の「あなたの意見や市民の声が市議会に届いていると思いますか」では、「思う」、「やや思う」と答えた方が29%で、思ったより低い結果に反省しなければならぬと感じました。やはり、多くの市民との会話の機会を、もっと作らなければならぬという結論に行きつきます。

調査結果は市議会ホームページにも掲載しています。  
<https://www.city.nonoichi.lg.jp/site/sub-gikai/37880.html>

## 行政視察報告

### 教育福祉常任委員会・体育施設等に関する調査特別委員会

#### 教育福祉常任委員会

7月12～14日、行政調査視察を行いました。

（北村・朝倉・辻・杉林・西本・向田・梅野）

#### 「教育センターにおける相談内容の傾向と特徴」について

大阪府堺市教育センターでは、子どもたちとの信頼関係構築に重点を置き、特に初回面談（インテーク面接）を大切にしています。相談室の雰囲気作りや環境にも十分配慮し、遊びなどを通して、心を通わせていきます。電話教育相談（子ども電話教育相談こころホーン）では委託形式を採用していますが、24時間・365日対応となっており、例年1700件程度の相談入電があるとの事でした。年々、相談の件数自体が増加しており、特に中学1年生の相談申込が増加傾向でした。相談主訴としては、学習や発達に関する相談が一番多くっており、続いて不登校に関する相談が多くなっている状況でした。20年程前までは、発達に関する相談は少なかったようですが、医療の進歩や発達障害・学習障害に関する認知が広まったため、相談主訴として増加したと考えられています。相談申込では男子の申込が多くなっている状況で、男子は性格行動に関する相談と学習発達に関する相談の申込比率は同程度ですが、一方で女子は性格行動に関する相談申込が多いとの事でした。改めて、「関わりから見守りへ」、そして「自立」に繋げるという目標を明確に意識しながら、日々のサポート支援を行っていく大切さを実感致しました。

本市教育行政に活かせるように、議論を深める必要があると受け止めました。

他、大阪府松原市教育委員会・京都少年鑑別所等4カ所を調査視察致しました。



#### 体育施設等に関する調査特別委員会

##### 7月22日 かほく市視察

Vリーグ機構との協議については、基本計画策定時等に、ヒアリングを実施し規約の確認を行うとともに、PFUブルーキャッツとは、直接施設整備に係るヒアリングを行い選手の導線や諸室の配置について意見聴取を行った。また、施設にはパラスポーツを開催できるよう車椅子シャワーを設置することとしている。

##### 8月25日 柳島スポーツ公園（神奈川県茅ヶ崎市）視察

地域主導型PFIをローカルファーストの考えに基づき、地域主導イベントの開催等、また工事期間の材料調達や地域雇用等、地域経済を循環させていく取組等の中で連携していった。運営会社スマートウエルネスパーク株式会社においては開業初年度より黒字計上しており、このことは、開業後もローカルファーストを展開することで、支援会社・スポーツ公園ファン、また地域住民と一体となつて事業収入が確保できた結果である。単に、低落札価格を求めるの

ではなく、利用者・ファンをどれだけ多く獲得できるかがPFI成功に導くキーポイントである。柳島スポーツ公園PFI事業は、市の財政負担軽減に繋がっていると思慮される。



##### 8月26日 スポーツ庁視察

スポーツの成長産業化が大きな柱となり地域経済の成長が可能である。スポーツ庁では、地方公共団体が構想や事業計画の作成を進められるよう、「スタジアム・アリーナ相談窓口を開設」してあるとのことである。コンセッションの活用により、民間事業者が長期に安定して公共施設の運営・維持管理を行うことができると種々アドバイスを受けた。また、本市の体育施設に係るチェックリストによる結果も示された。



## 採択された意見書

### 少人数学級・教職員定数の改善を求める意見書

- ① 中学校の35人学級を早急に実施すること。また、さらなる少人数学級について検討すること。
- ② 高等学校の35人学級の実現に向けて検討すること。
- ③ 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配の増員や少数職種配置増など教職員定数改善を推進すること。とりわけGIGAスクール構想の実施にともなうICTサポートの配置増を早急に行うこと。

### 地方財政の充実・強化を求める意見書

- ① 増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握し、地方一般財源総額の確保をはかること。

- ② 急増する社会保障ニーズが自治体の一般行政費を圧迫していることから、社会保障経費の拡充をはかること。また、これらの分野を支える人材確保にむけた自治体への財政措置を講じること。

- ③ 新型コロナウイルス感染症対応業務のみに限定しない、より全体的な保健所体制・機能の強化に十分な財源措置をはかること。

- ④ 「まち・ひと・しごと創生事業費」の1兆円については、持続可能な地域社会の維持・発展にむけて恒久的な財源とすること。

- ⑤ 今後も、会計年度任用職員の処遇改善が求められることから、引き続き所要額の調査を行うなどし、さらなる財政需要を十分に満たすこと。

- ⑥ デジタル・ガバメント化における自治体業務システムの標準化にむけ、十分な人材・財源を保障すること。

## 12月定例会の予定

会期:12月2日(金)~22日(木) (21日間)



日	月	火	水	木	金	土
				1	2 午前10時~ 本会議 開会	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12 午前10時~ 本会議 一般質問	13 午前10時~ 本会議 一般質問	14	15 午前10時~ 予算決算常任委員会	16 午前10時~ 総務産業常任委員会 午後2時~ 教育福祉常任委員会	17
18	19 午前10時~ 体育施設等に関する 調査特別委員会 午後2時~ 議会改革・活性化特 別委員会	20	21 午前10時~ 予算決算常任委員会	22 午後2時~ 本会議 閉会	23	24
25	26	27	28	29	30	31